

平成30年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
評価対象期間	H30.4.1 ~ H31.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県福祉友愛プール
	所在地	岐阜市鷺山2563番地18
指定管理者	名 称	一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	H28.12.1 ~ R3.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ プールの使用の許可等に関する事。 ・ プールを活用した障がい者のスポーツ活動の指導及び普及に関する事。 ・ プールの維持管理に関する事。 ・ プール利用者への便宜の供与に関する事。 ・ プール利用の促進に関する事。 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H28	7,207
H29	35,286
H30	38,039

3 平成30年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	97,548
利用料金	7,451
指定管理料	88,192
そ の 他	1,905
支 出 計	97,548
人 件 費	21,847
施設管理費	73,211
そ の 他	2,490
差 引	0
納 付 金	0

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・管理基準に基づいて適切に運営されている。 ・業務委託会社の職員を含めハラスメント等の研修が必要である。 ・「障がい者の社会参加の推進」という点で、イベントの開催、無料バス、団体バス等の運行により、障がいのある人達の生活が豊かになっている。 ・HPの内容等、制作業者に任せきりにならず、内容の把握と吟味を行うこと。 ・地域交流事業の実施、オープン1周年記念イベントの実施、障がい者水泳大会等への場所提供等、水泳教室・トレーニング教室等さまざまなニーズに応じた点で評価できる。 ・自らのことをうまく説明できない方が多いので、これからも「親切で丁寧な対応」を継続してほしい。 ・障がい者スポーツの競技向上に対しては選手への支援と共に、すそ野を広げることが大切なので、様々な教室の開設等もあり喜ばしいことである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷板のズレによる隙間対策のため特注のプールフロアを敷設するなど、利用者の安全や健康に配慮した対策を行った。 ・利用者ニーズを把握し、教室等の開催及びその広報を行っている。 ・ホームページを充実させ、イベント開催等情報が充実してきている。 ・地元自治会等の理解を得て、コミュニティバスの運行に道筋をつけた。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に注意を払ってコース分け等を実施。また、トラブル等に対しても即対応している。 ・保守点検修繕その他の維持管理、清掃、警備等についてよく対応している。 ・様々な利用者が使いやすいよう、設備についても考えてほしい。 ・どのスタッフも同じ対応が出来るような共通理解を深める対策をしてほしい。
設置目的の充足状況	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズの把握に努め、多くの教室等実施している。 ・障がい者に対する対応がきめ細かく配慮されている。 ・ホームページが充実してきており、イベント情報等詳しく掲載されている。 ・更なる障がい者理解に向けた研修を期待する。 ・閑散期である冬場についても利用者増に向けた魅力あるイベントの開催やPRを行ってほしい。
公共性の確保の状況	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の取り組み、広報など、地域を意識した取り組みがなされている。 ・様々な障がい、年齢に応じ利用しやすい環境づくりに心掛けている。 ・県の水泳連盟が主催する協議会を開催しており、公共の施設として理解されている。 ・自家用車が無いと利用しづらい立地のため、岐阜圏域以外の人たちが利用しやすい提案を行ってほしい。
経営状況	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな経費である光熱水費も予算内に収まり、健全な管理がなされている。 ・障がい者無料化に伴い、利用料金収入の減となるため一層の経営努力が必要である。
派生的効果	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の自治会等の理解を得て、コミュニティバスの運行に道筋をつけた。 ・障がい者スポーツの競技能力向上の効果については、競技人口も増え上がっている。 ・全国、県内の水泳大会へ向けて積極的な開催支援がなされている。 ・水泳教室等を通じてより一層の競技力向上を望みたい。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。 ・障がい者と高齢者というニーズの異なる利用者が共有でき、安心、安全、快適に利用できるよう運営されている。 ・障がい者水泳選手の練習拠点として活用され、競技力向上につながっている。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する